

第46回 全国育樹祭

いばらき 2023

誰かじゃない 僕が育てる 緑の日本

全国育樹祭とは

健全で活力ある森林を育て、次の世代に引き継ぐことの大切さを伝えるため、昭和52年から毎年秋に、開催都道府県と（公社）国土緑化推進機構の共催により開催されている国民的な緑の祭典です。全国植樹祭で天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木を皇族殿下がお手入れされる育樹運動のシンボリック行事と、皇族殿下によるおことばや各種表彰等の式典行事のほか、参加者による育樹活動等の行事が行われています。

11月11日（土）から12日（日）にかけて、「誰かじゃない 僕が育てる 緑の日本」をテーマに、秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご臨席の下、第46回全国育樹祭が茨城県潮来市「県民水郷の森」及び水戸市「アダストリアみとアリーナ」で開催されました。

11日のお手入れ行事では、代表参加者による育樹活動（施肥）が行われ、オープニングアトラクションとして潮来ばやし披露されました。その後、平成17年の全国植樹祭で当時の天皇皇后両陛下がお手植えされたタブノキとヤマボウシへのお手入れ（枝打ち、施肥）が秋篠宮皇嗣同妃両殿下により行われました。

12日の式典行事では、皇嗣殿下のおことばに続き、緑化推進や森林づくり活動に功績のあった方々への表彰

と、宮下一郎農林水産大臣の立会いの下、全国から選ばれた緑の少年団への「緑の贈呈」が行われました。

メインテーマアトラクションでは、いばらきと未来の日本の緑について考える「NEWS LIVE STREAMING」として、茨城県の林業最前線から茨城県産材の利用や、日本と世界の林業の未来について、映像とニュース形式の解説で紹介されました。

最後に（公社）国土緑化推進機構の濱田純一理事長による「大会宣言」等が行われ、式典は幕を閉じました。

次回、第47回全国育樹祭は「育てよう 幸せ芽吹く 緑の大地」を大会テーマに、令和6年10月19日、20日に福井県で開催される予定です。



お手入れをされる秋篠宮皇嗣殿下

（提供：茨城県）



緑の少年団へお声がけされる秋篠宮皇嗣同妃両殿下（提供：茨城県）



おことばを述べられる秋篠宮皇嗣殿下



表彰を行う宮下農林水産大臣